第５回住民会議意見概要（経済建設部会）

日時：平成 28 年 9 月 1 日（木）19：10～21：00
場所：役場 3 階　庁議室

■基本計画案に関する意見

計画全体に係る内容

・これまで議論している基本計画の中身を着実に推進するには、役場の担当課が事業化していくことになると思うが、事業内容について町民から気軽に意見を聞けるような場の設定を行う必要があると思う。

⇒基本計画を着実に推進する担保として、「行財政計画」の中に PDCA サイクルに基づいた実施という表現で整理しており、計画の節目では町民によるチェックもイメージしている。また、町民から意見を聞く場については、まちづくり目標１の施策の展開（1）住民自治の確立に向けた学びの場の充実と支援、（5）協働のまちづくりの実践の中で表現している「学習会」や「協働のまちづくり推進組織」がそのイメージである。

まちづくり目標４：工夫と連携で産業が躍動するまち

１節　南風原産品を創り伸ばす農業の振興

・くがに市場でのイベントなどは、定期的に行われており、利用者も増えてきていると思うが、イベントの広報の方法など（広報不足）で課題がある。

２節　賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

・特に意見なし

３節　地域の連携で創る観光の振興

・ひまわり畑も新聞などで取り上げられるなど、訪れる人も多くなっているが、駐車場の問題がある。

・キッズパークの取り組みについては、課題もあるが、徐々に多くの人に認知されてきていると感じている。

・沖縄市にあるミニミニ動物園のようなものが、南風原にできると、沖縄市に行っていた南部の人が南風原に訪れてくれると思うので、設立できないか知り合いに話しているところである。

４節　歴史と伝統を誇る工芸産業の振興

・施策の展開などの内容は良いと思うが、この施策を実施する上で、業界がいかに本気

度を持って取り組むかにかかっていると思う。そうしないと、いくら役場が支援しても衰退していくのは目に見えている。

・奄美は、島民が購入する場合は、購入価格の 20%を役場が補助するという取り組みをやっているが、町民に愛着をもってもらうため、そのような取り組みも１つの手だと思う。

まちづくり目標５：みどりとまちが調和した安全・安心のまち

２節　快適で文化的に暮らせるまち

・施策の展開（3）水辺空間の保全・活用の項目に、「自然観察やホタル・トンボ類の生育環境の回復」という表現があるが、ホタルの生育環境を回復させるには、光の制約をしないといけないので、取り組む際には、その辺も注意した方が良い。

・ホタルの生育環境を回復させる際にも、水辺全体ではなく、大学などの専門的な方と協力してポイントを絞った取り組みが重要になると思う。

・小学校や中学校と協力して、ハザードマップなどの危険な場所の逆の、南風原町の良い所に関するマップづくりに取り組んでも面白いと思う。

・これまでの住民会議で意見として出ていた、「街路樹を植える」「木陰のあるまちづくり」のような表現が施策の展開（4）水と緑のネットワーク、（5）南風原町の個性ある美しい住環境の保全・創出の中にあった方が良いと思う。

⇒（4）水と緑のネットワーク、（5）南風原町の個性ある美しい住環境の保全・創出については、それらの内容を含んだ形で文章を整理したが、表現を追加することを検討したいと思う。

３節　利便性のよい魅力あるまちづくり

・特に意見なし

その他意見

・中央公民館に、貸し出し用のパソコンが準備されているにもかかわらず、利用できない状況がある。また、持ち込みのパソコンでは無線 LAN も使用できない状況にある。せっかく、施設としては良い研修室があり、設備もあるのに、上手く活用できていないのはもったいない。貸し出せない理由としては、貸し出すとそのパソコンを初期化しなければならないため、その為の予算がないことだと思う。

⇒担当に確認したい。